# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

## 1-1 建物概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | (仮称)下呉服町マンション 新築工 | 階数 | 地上15F |
| 建設地 | 福岡県福岡市博多区下呉服町406 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 164 人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年1月 予定 | 評価の実施日 | 2018年5月17日 |
| 敷地面積 | 1,258 ㎡ | 作成者 | 石橋一弥 |
| 建築面積 | 639 ㎡ | 確認日 | 2018年6月10日 |
| 延床面積 | 8,132 ㎡ | 確認者 | 石橋一弥 |

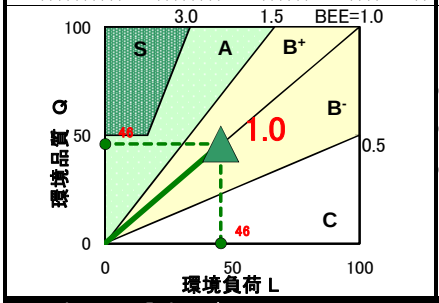
## 1-2 外観

ください

## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

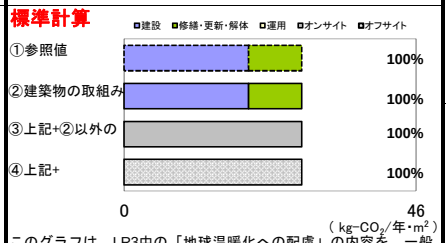
BEE =1.0 ★★★☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



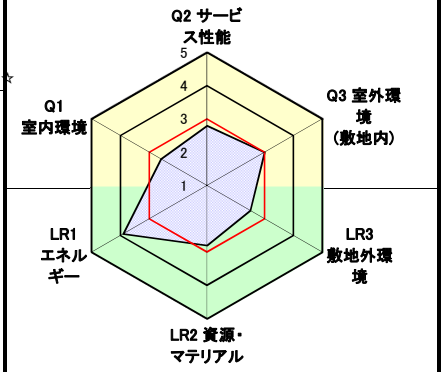

## 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



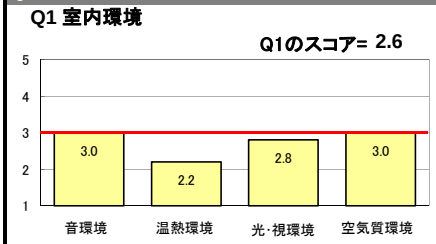

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

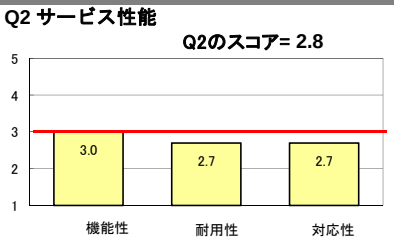
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

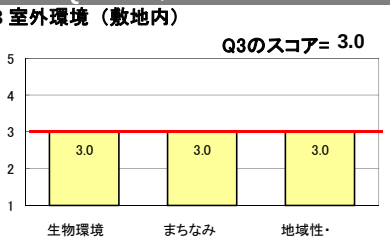



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

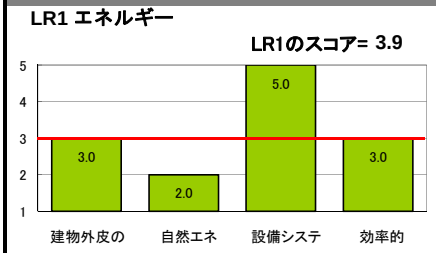
### Q 環境品質 — Q のスコア= 2.8

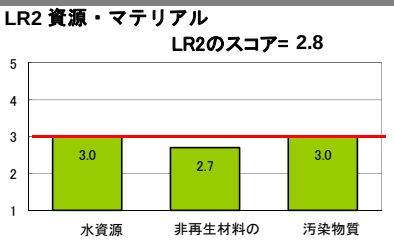


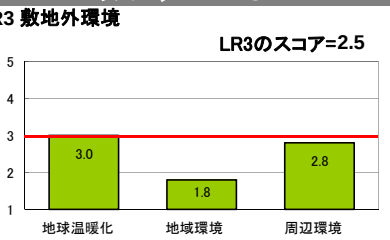




### LR 環境負荷低減性 — LR のスコア= 3.1




## 3 設計上の配慮事項

### 総合

注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。
・建物ボリュームを道路境界線よりセットバックした計画とし、
周辺への圧迫感の軽減や通風・採光に配慮した計画とした。

### その他

注) 上記の６つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてＣＡＳＢＥＥで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

### Q1 室内環境

注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・住戸の界壁・界床は、遮音性能に配慮した計画した。

### Q2 サービス性能

注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・十分な階高を確保し、空間にゆとりのある計画とした。

### Q3 室外環境(敷地内)

注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・前面道路に植栽帯を計画し、潤いのあるまちなみの景観となるよう配慮した。

### LR1 エネルギー

注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・LED照明器具を採用し、使用エネルギーの削減に配慮した計画とした。

### LR2 資源・マテリアル

注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・躯体と仕上材が容易に分別可能となっており、解体の際のリサイクル性に配慮した。

### LR3 敷地外環境

注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
・適切な量の駐車場、駐輪場を確保し、十分な幅の駐車場への進入路を確保することにより、
周辺への交通負荷を軽減する計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
■「ライフサイクル$CO_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクル$CO_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される